

BARAKA

BARAKA (バラカ) = 「神の恵み」
アセフ季刊誌 BARAKA 7号

●いろいろな団体からの支援

10月、11月はお客さまが多く、特に当会の活動を支援したいとってくださる団体さまから、いろいろな形のご支援を頂きました。その中のいくつかをご紹介します。以前から支援してくださっている HumanNote (ヒューマンノート) が、6回目のケニアライブに来訪。



【小学校でライブを行う HumanNote】

エボラ報道で7人キャンセルになりましたが、11人が来訪し、多くの小学校やマキマの孤児院、そしてタンザニアではブッシュマンとのライブも実現しました。クリニックのオープニングや孤児支援の為に農場、植林にも支援して頂きました。

また、マキマに井戸掘削費と、ソーラーパネルで蓄電した電力で、水を汲み上げるシステムを贈呈頂いたディライツ社長のテープカット。



【ディライツ社長(中央)のテープカット】

乾燥地のマキマでは、乾季には川が枯れてしまうため、子ども達は何キロも先の大きな川底を掘り返し、濁った水を汲みます。そのため、お腹を壊す人が多く、腸チフスなどの原因にもなります。今回の贈呈でキレイな水が近隣住民にも

供給できるようになり、開放当日、みんな我さきにと水汲みに集まりました。



【きれいな水に殺到する人々】

また前回、車を贈呈頂いたユーポス社から、マキマの孤児や近所の小学校への巡回映画用に、スピーカーや映写機、発電機を、さらにフェリシモ社より、500色の色の鉛筆を2箱も孤児に贈って頂き、香港の北村さまより、英語の絵本や使わなくなった教科書など、多数送って頂きました。

●ナイロビカウンティーとの提携

このところ、ケニアが国を挙げて取り組んでいる環境改善問題について、ナイロビカウンティーとの連携に伴う会議も多くなりました。キベラスラム(アフリカで2番目に大きい)に隣接しているナイロビダムの浄化を含むクリーンタウン事業に、ナイロビ市が本腰を挙げてきました。大きな事業展開が環境や汚水処理、若者育成で連携して進められそうです。



【ナイロビカウンティーと提携の環境改善会議にて
左 塩尻現地所長】

●小学8年生 無事に統一試験終了

ケニアは日本よりもっとシビアな学歴社会です。学校を出ていなければ就職できず、現金収入がなければ、結婚すらままならない。そんなケニアの小学校は義務教育で、8年制(7歳~14歳)です。8年制の終わりには、全国の統一試験があり、その結果次第で行く高校が決まってしまう。毎年年末に行われる統一試験で、当会の小学校は、2012年、2013年はエンブ郡450校中の1位を獲得し、当校への入学希望者の順番待ちリストは100人を越えています。そんな当校は4年生から希望者は寮に入ることができ、現在も多くの子が仲間と寄宿して勉強しています。8年生は、朝は5時起床のあとすぐから朝食を挟んで始業時間まで。夕方は、放課後の小休憩のあとから夕食後も9時半くらいまで教室で、先生がついてくれて、試験勉強をします。本当に関心するくらい勉強します。それで将来の道が全て決まってしまうとしたら、当然でしょう。今年の統一試験も無事に終了。結果が出るまでは、自宅待機になるため、苦楽を共にした仲間とも今日でお別れです。勉強のみならず、当校で仲間と過ごした時間や学んだことが、これからの彼らの将来には大きく影響することでしょう。



【統一試験が終わり、ほっとした8年生たち】

今年の8年生は、いつも笑顔で、最後まで笑顔の絶えないクラスでした。

●小学校スタッフのための宿舎完成

遅くまで勉強する小学校の寮生の勉強をみてくれる先生たち。毎日、夜10時近くの帰宅では、交通手段の乏しいケニアでは通勤も大変です。敷地の中で寝泊まりをして、指導に当たってくれています。しかし、近年、生徒がだんだん増えてきたことにより、スタッフ宿舎も手狭になり、新しい宿舎が完成しました。



【小学校スタッフハウス完成式】

●子ども達は大忙し

マキマのエイズ孤児院の子ども達は、お客さんのいらっしゃる度に、日本語の歌やケニアのダンスを披露してくれます。お客さん大好きな彼らでしたが、10月、11月は来客が多く、本当に大忙しでした。



【覚えている日本語の歌も多く、お客さんがびっくり】

エイズ孤児院は、皆さまにご支援頂いた寄付金で運営しております。今後ともご支援よろしくお願いたします。



振込先: ゆうちょ銀行 振替口座 番号:00930-8-66355

口座名義人: アフリカ児童教育基金
(カナ表記: アフリカジドウキョウイクキキン)

領収書の不要の方は、通信欄に「領収書不要」とご記入ください。

口座名義人が、
短くなりました!

作成・発行: (特非)アフリカ児童教育基金の会 ACEF 日本事務局 〒632-0063 奈良県天理市西長柄町 265-4

TEL&FAX: 0743-25-6935 電子メール: headquarters@acef-jpn.com

現地事務所 Africa Children Education Fund (ACEF) P.O.Box 1365-60100 Embu, Kenya